

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	西平井・鱒ヶ崎地区汚水整備事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		主管課	下水道建設課			
施策	1-4	快適な生活環境を目指した下水道整備の推進		主管課長	池田 輝昭			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	西平井・鱒ヶ崎地区および鱒ヶ崎・思井地区の公共下水道（汚水）の利用者	意図	土地区画整理事業の進捗に合わせた公共下水道整備の推進。
事業内容	江戸川左岸流域関連公共下水道（汚水）のうち、西平井・鱒ヶ崎及び鱒ヶ崎・思井地区の整備を行った。			
事業開始から現在までの状況変化	公共下水道へ接続する家屋等の増加により、河川へ流出する生活排水等が減少し水質向上が図られる。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 各年度の整備面積	8.10	.44	2.99	ha	↑↑↑	
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・区画整理の進捗に合わせて、下水道の整備を行っているため、区画整理事業者に事業の進捗が左右される。	
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		93,071,920	55,014,000	50,002,100			
事業費(b)(円)		90,307,920	52,002,000	46,569,600			
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)		2,764,000	3,012,000	3,432,500			
人役・職員(人)		0.40	0.40	0.50			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	西平井・鱒ヶ崎土地区画整理事業区域内の下水道整備を進めている。	③取組の課題	工事の進捗が、土地区画整理事業の進捗に左右されたため、次年度へ繰越となる場合がある。
②今年度(H28)に実施した取組	西平井・鱒ヶ崎地区(40.1ha)の内、0.85haの汚水管整備を行った。38.5haの整備が完了した。鱒ヶ崎・思井地区(11.8ha)の内、2.14haの整備を行った。	④今後の改善計画	両地区とも、事業の進め方について土地区画整理事業者と適宜協議し、無理のない、効率的な事業執行に努めていく。